

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

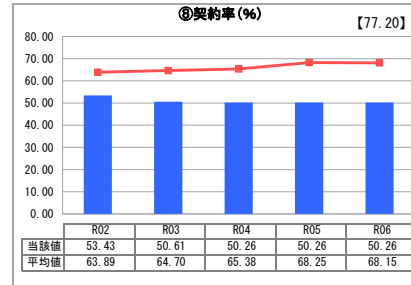
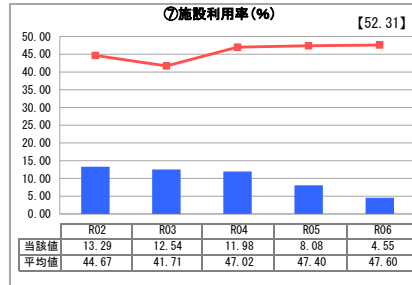
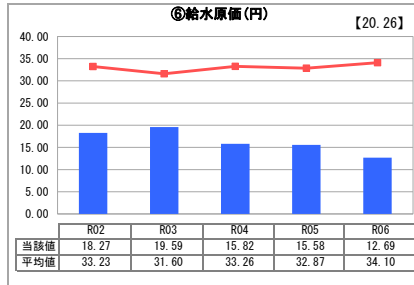
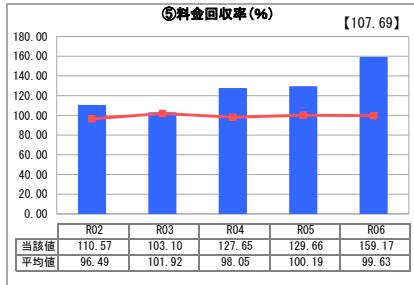
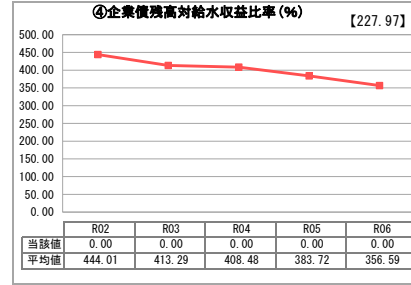
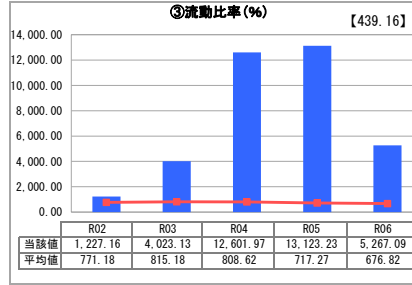
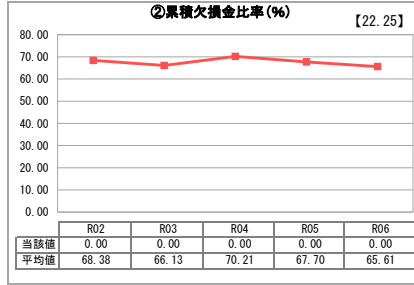
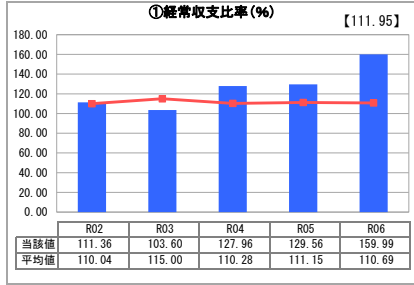
山口県 岩国市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	28,570	小規模	1	1,301
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	96.5	12	14,358	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

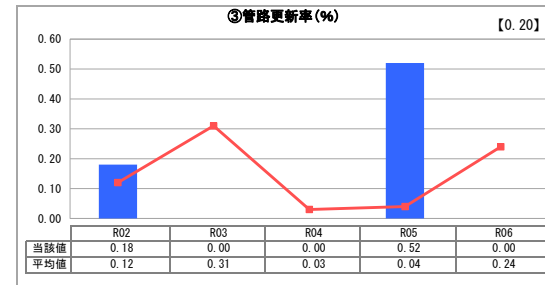
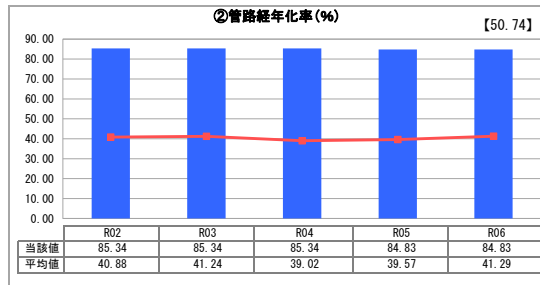
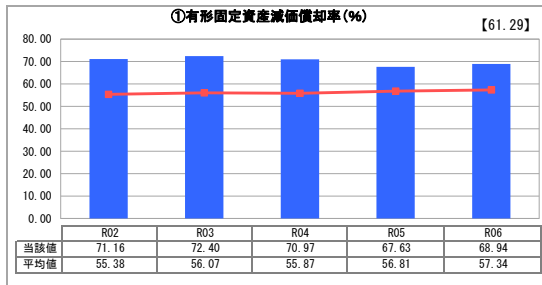
1. 経営の健全性・効率性について

① 經常収支比率(%)
100%以上であり健全な経営状態を維持している。
② 類似団体と比較しても、高い比率を維持しており、支払い能力に問題はない。
③ 流動比率(%)
100%を上回る水準を維持している。
④ 企業債務高対給水収益比率(%)
全国平均と比較すると低く、効率的な経営が行われている。
⑤ 料金回収率(%)
100%を上回る水準を維持している。
⑥ 給水原価(円)
全国平均と比較すると低く、効率的な経営が行われている。
⑦ 施設利用率(%)、⑧ 契約率(%)
施設利用率、契約率ともに類似団体と比較して低い。
令和6年度決算における分析については、上記のとおりであるが、令和7年度より主要な大口受水企業が撤退したため、給水収益が76%減少する見込みである。そのため、令和7年度から赤字経営となり、経営の健全性・効率性の指標が急激に悪化することが予想されている。

2. 老朽化の状況について

管路総延長約17kmに対し、法定耐用年数を経過した管路延長は約15kmと、事業創設期の施設がほとんどを占めている。また、老朽化により、近年では漏水事故が多発し、令和5年度については漏水箇所及び付近部の管路更新を実施している。
計画的に漏水の可能性が高い水管橋部の更生工事を行っていたが、大口受水企業の撤退による大幅な給水収益の減少が見込まれるため、既存施設の維持管理に重点を置き運用を行っている。

2. 老朽化の状況



全体総括

岩国市工業用水道事業は、事業開始から50年が経過しており、施設老朽化による漏水事故等の修繕・維持管理に努めている。
また、令和7年度からは主要な大口受水企業の撤退により、給水収益が76%減少する見込みとなり、赤字経営が予測されている。そのため、事業存続が困難であると判断し、工業用水道事業の廃止に向けて準備を進めている。